職連にゅーす

H27. 12. 9
No. 114

発行　ＪＡ福島県職員連盟　　〒960-0231　福島市飯坂町平野字三枚長 1-1
TEL/FAX　024-554-3512 / 3510　　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　kyojokai@alto.ocn.ne.jp

第 6 回 JA 福島県職員連盟盟友大会開催

12 月 5 日（土）、福島市の「JA 福島ビル」に於いて第 6 回 JA 福島県職員連盟盟友大会が開催され、県内各 JA・関連団体の盟友約 200 名が参加した。

盟友大会は、JA 福島大会に合わせて 3 年に 1 回開催しており、第 6 回大会では、第 39 回 JA 福島大会での決議内容について再確認を行い意思統一を図るとともに、（株）A・ライフ・デザインの伊藤喜代次氏を講師に迎え、「ES の向上は高い CS と経営品質から」と題した記念講演を行った。

大会申し合わせ内容

参加者は、以下のとおり申し合わせた。

私たちJAグループ福島は、「JAグループ福島復興ビジョン」のもと、被災者の営農再開や風評払拭対策など本県農業の復興・再生に取り組んできました。

さらに将来にわたって組合員や地域住民の期待に応えられるJAを目指し、新たな組織体制の整備に取り組み来年3月には新たに4JAが発足いたします。

一方で、米政策の大転換、大幅な組織・制度の見直しを含む農協法改正、さらにはTPPが大筋合意される等政府が農業の成長産業化の名のもと競争原理主義の農業政策が推し進められ、JAグループとしても「自己改革」に取り組むことが求められております。

このように課題山積の中、第 39 回JA福島大会において「新生JAの機能発揮による震災復興と未来につなぐ協同の実践」が決議され、合併事業計画の着実な実践を通じて、大震災・原発事故からの復興、地域営農ビジョンに基づく担い手の育成・支援、農業所得10％アップの実現、地域活性化への貢献、組合員との結びつき強化を目指すアクティブ・メンバーシップの促進等に取り組むことが決議されました。

私たちJAグループ福島の職員は、大会決議の今日的意義を確認しながらJA職員としての自覚と誇りをもって「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として組合員・地域にとってなくてはならない存在としてのJAづくりに向けて誠実に取り組むとともに、職員連盟の活動に積極的に参加し、明るく活力ある職場づくりに向けて行動します。

職員連盟委員長挨拶の様子

記念講演の様子

JA 福島県職員連盟盟友大会スローガン
～手をつなぎ未来を築くふるさと福島～